

---

- ダイキン「第2回 現代人の空気感調査」 -

総合報告書

空気、水、安全のコスト意識  
に関する調査結果

---

平成14年12月

ダイキン工業株式会社 広報部

# 目 次

． 調査企画	1
1 ． 調査の目的	2
2 ． 調査の実施要項	2
3 ． 回答者の基本属性	3
． 調査結果の概要	4
． 調査結果の詳細	7
1 ． 「空気・水・安全」について、日常生活の中で意識する度合いが高いもの	8
2 ． 「空気・水・安全」について、日頃コストを意識すること	10
3 ． 「空気・水・安全」の中で最も心配なもの	13
4 ． 「空気・水・安全」について心配な点	14
(1) 「空気」について心配な点	14
(2) 「水」について心配な点	15
(3) 「安全」について心配な点	16
5 ． 「空気・水・安全」の値段	17
6 ． 「おいしい・快適な空気」といえばどんな空気が	22
7 ． 「おいしい・快適な空気」を得るためにお金をかけたことがあるか	23
8 ． 1カ月に換算するといくら位に相当するか	24
9 ． 「おいしい・快適な空気」を得るためにお金をかけたこと	25
10 ． お金をかけなかった理由	26
11 ． 室内の空気と屋外の空気のどちらが心配か	27
12 ． 日常生活の中であまりコストを意識しないもの	28

## . 調査企画

---

## 【はじめに】

「現代人の空気感調査」は、51年前に日本で初めてパッケージエアコンを製造して以来、“空気”にこだわり、空調の技術を進化させてきた空調トップメーカーのダイキン工業が、1日に約20kgも口にしながらあまり意識されず、なかなか目に見えなかった“空気”について、より多くの方々に関心をもっていただくことを目的として実施したものです。

本年3月に「～見えない空気を見えるものに～」をテーマに、目に見えず、言葉では表現することの難しい空気について、「色、音、味、香り、温・湿度」の五感やイメージなどを調べた「第1回 現代人の空気感調査」に続くシリーズ第2弾です。

今回の<日本人の三大無料モノ編>では、従来より、“空気”とともに日本人には無料であるとされてきた「水」「安全」とのコスト意識の比較などを通して、現在の日常生活において空気がどのように意識されているのか、について調査しました。

今回の調査結果では、日本人の中で未だ圧倒的に“空気”が無料モノであることが浮き彫りとなりました。一方で、皆様の中で“おいしい空気”という上質な空気を求めている意識が見えたと言えます。

ダイキンはこれからも未永く“空気”が無料と意識される世の中であり続けるように、そして皆様が望む“おいしい空気”という、より上質な“空気”を追求しつづけていきたいと考えています。

### 1. 調査対象及びサンプル数

有効票数：7,341 サンプル

w e bによる公開調査で実施したため、性別、年代、職業などは限定しておりません。

### 2. 調査方法

Web 調査(当社ホームページ上にて実施)

### 3. 調査実施時期

平成14年10月12日～11月6日

### 4. 調査項目

- ・ 日常生活の中でほとんどコストを意識しないもの(ただだと思っているもの)
- ・ 空気・水・安全に関する日頃の意識の程度
- ・ 空気・水・安全を意識するとき
- ・ 空気・水・安全の中で最も気がかりなもの
- ・ よい空気を得るために実際に行っていることとそのための出費

## 5 . 回答者の基本属性

### <性別>

男性	女性
3730	3611
50.8%	49.2%

### <年代>

10代	20代	30代	40代	50代	60歳以上
220	2227	2681	1508	538	167
3.0%	30.3%	236.5%	20.5%	7.3%	2.3%

### <職業>

会社員・ 公務員	商工自営	自由業	専門職	主婦	学生	無職・ その他
3757	243	217	124	1679	627	694
51.2%	3.3%	3.0%	1.7%	22.9%	8.5%	9.5%

### <未既婚>

未婚	既婚
2690	4651
36.6%	63.4%

### <住まい>

持ち家・ 一戸建て	持ち家・ 集合住宅	社宅・寮	借家・ 一戸建て	借家・ 集合住宅
3508	975	457	337	2064
47.8%	13.3%	6.2%	4.6%	28.1%

### <家族構成>

一人住まい	夫婦	夫婦＋子供	夫婦＋子供 ＋祖父母	その他
955	1205	3456	760	965
13.0%	16.4%	47.1%	10.4%	13.1%

### <地域>

北海道	東北	北関東	南関東 (東京除く)	東京	甲信越	東海	北陸
288	319	294	1633	1047	175	907	171
3.9%	4.3%	4.0%	22.2%	14.3%	2.4%	12.4%	2.3%

近畿 (大阪除く)	大阪	中国	四国	九州・沖縄
805	693	345	174	477
11.0%	9.4%	4.7%	2.4%	6.5%

## ・ 調査結果の概要

---

1. 空気・水・安全のうち、日常生活の中で最も意識されていないものは「空気」意識する度合いが高いのは「安全」

「空気」が最も意識されていない

- ・「空気」と「水」では、「水」(67.8%)が7割近い
- ・「空気」と「安全」では、「安全」(72.3%)が7割を超える
- ・「安全」と「水」では、「安全」が44.5%、「水」が43.0%とほぼ2分

2. 「空気・水・安全」の中でコスト意識が最も希薄なのは「空気」

コスト意識も「空気」が最も弱い

- ・「空気」のコストを意識することは、8割(80.5%)の人が“ない”
- ・「水」のコストを意識することは、“ある”人が約8割(79.4%)
- ・「安全」のコストを意識することは、“ある”人が7割近い(66.8%)

3. 空気・水・安全のうち、最も心配なものは「安全」

空気・水・安全の中で心配なのは、「安全」(43.5%)が最も多く、次いで「空気」(29.3%)「水」(27.1%)の順

4. 空気について気がかりなことは「大気・空気の汚染」と「車の排気ガス」

「空気」について最も気になることは「大気汚染・空気の汚染」(2162件)、「水」について最も気になることは「水質劣化・汚染・汚濁」(1244件)、「安全」について最も気になることは「交通事故」(800件)で、どれも際立っている

5. おいしい・快適な空気の値段は1カ月換算で2,125円。

得るために出してもよいと思う金額は、「おいしい・快適な空気」の平均金額は2,152円、「おいしい水」の平均金額は2,525円、「安全」の平均金額は5,686円

6. おいしい・快適な空気といえば「高原や山の空気」(35.2%)

「高原や山の」(35.2%)が最も多く、次いで「渓谷や滝などの」(17.2%)、「排気ガスやダイオキシンなどのない」(15.1%)

7. おいしい・快適な空気を得るためにお金をかけたことのある人は45.9%その平均金額は1万円

「特にない」(54.1%)の方が多いが、「ある」(45.9%)も半数近くを示す  
「おいしい・快適な空気」を得るためにかけたお金の平均金額は1万50円

8. おいしい・快適な空気を得るためにお金をかけた内容は第1位が空気清浄機の購入、次いで「山歩きや旅行」

「おいしい・快適な空気」を得るためにお金をかけたことは「空気清浄機の設置」(1,834件)が圧倒的。以下、「山歩き・登山」(226件)、「旅に出かける」(201件)、「里帰り・帰省」(84件)など

9. お金をかけなかった理由のトップは「必要がないから」、次いで「良い方法がない・思いつかない」

お金をかけなかった理由としては「必要がない」(1,173件)が圧倒的。以下、「よい方法がない・思いつかない」(983件)、「お金がかかりすぎる」(335件)など

10. 室内の空気(42.9%)より屋外の空気(50.3%)の方が心配

「屋外の空気の方が心配」(50.3%)が約半数、「室内の空気の方が心配」は4割強(42.9%)

11. 現代の“三大無料もの”は「空気」「水」「太陽の恵み」

日常生活の中であまりコストを意識しないものは「空気」「水」「太陽エネルギー」「安全」「電気」

## . 調査結果の詳細

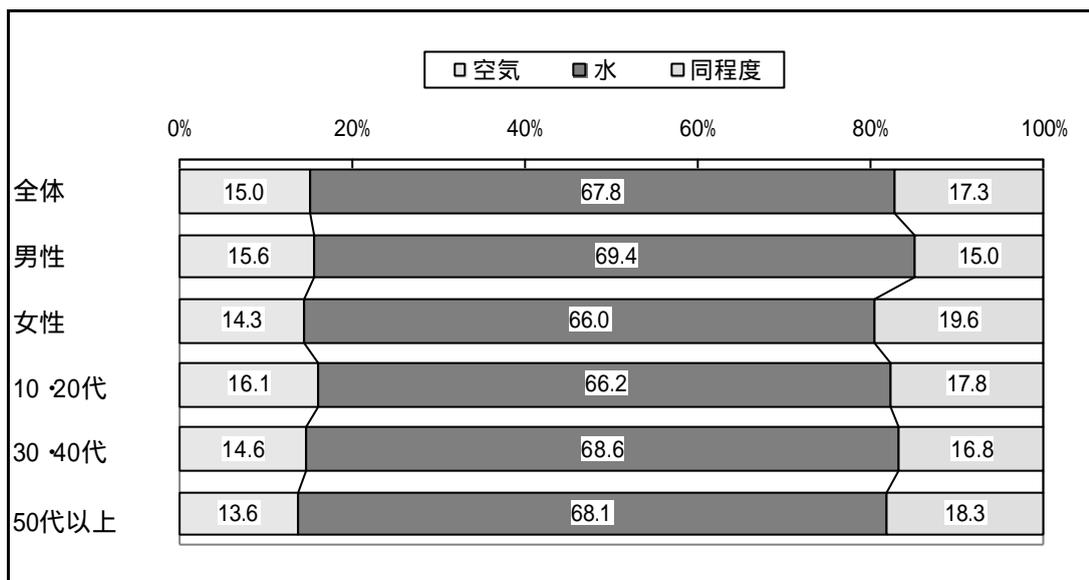
---

1. 「空気・水・安全」について、日常生活の中で意識する度合いが高いもの

「空気」が最も意識されていない

- ・「空気と水」では、「水」(67.8%)が7割近い
- ・「空気と安全」では、「安全」(72.3%)が7割を超える
- ・「安全と水」では、「安全」が44.5%、「水」が43.0%とほぼ2分

図1. 空気と水で、日常生活の中で意識することが多いものはどれか



「空気・水・安全」の3つについて、日常生活の中で意識する度合いが高いのはどれかを聞いてみました。

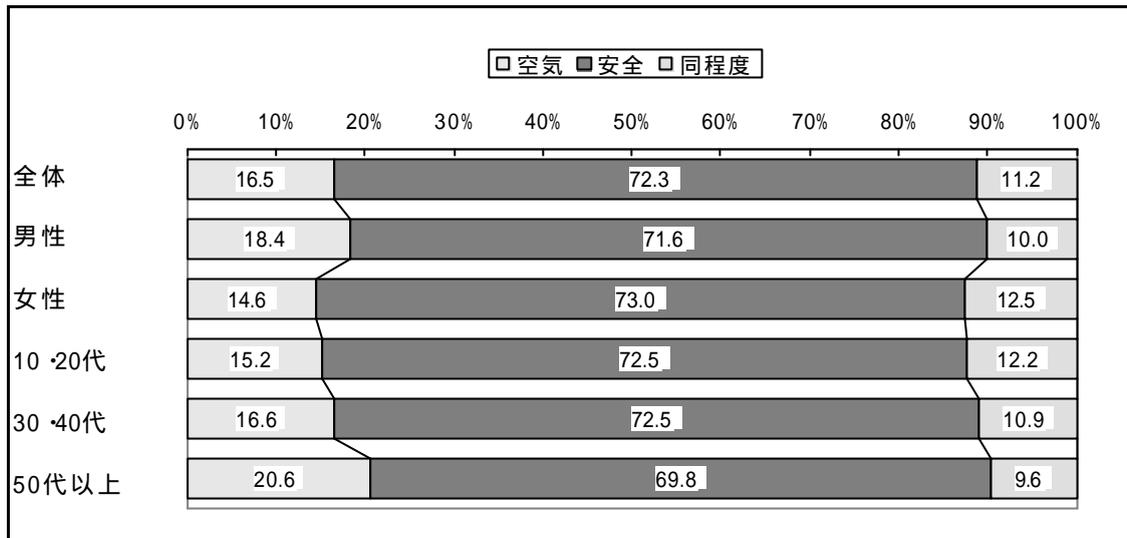
まず、「空気と水」ではどちらかを聞いたところ、「水」(67.8%)と回答した人が7割近く、「空気」と回答した人は15.0%に留まりました。また、「同程度」が2割近く(17.3%)みられます。

属性別にみても、特に大きな差はみられません。

ちなみに、後述する「空気と安全」、「安全と水」の意識度合いを含めて総合的にみると、「空気」が最も意識される度合いが少なく、「水」と「安全」は拮抗していますが「安全」の方が意識される度合いが高いようです。

	空気の重視 度合い	水の重視 度合い	安全の重視 度合い
空気：水	15.0	67.8	-
空気：安全	16.5	-	72.3
安全：水	-	43.0	44.5
合計値 (重視度の目安)	31.5 (12.2)	110.8 (42.7)	116.8 (45.1)

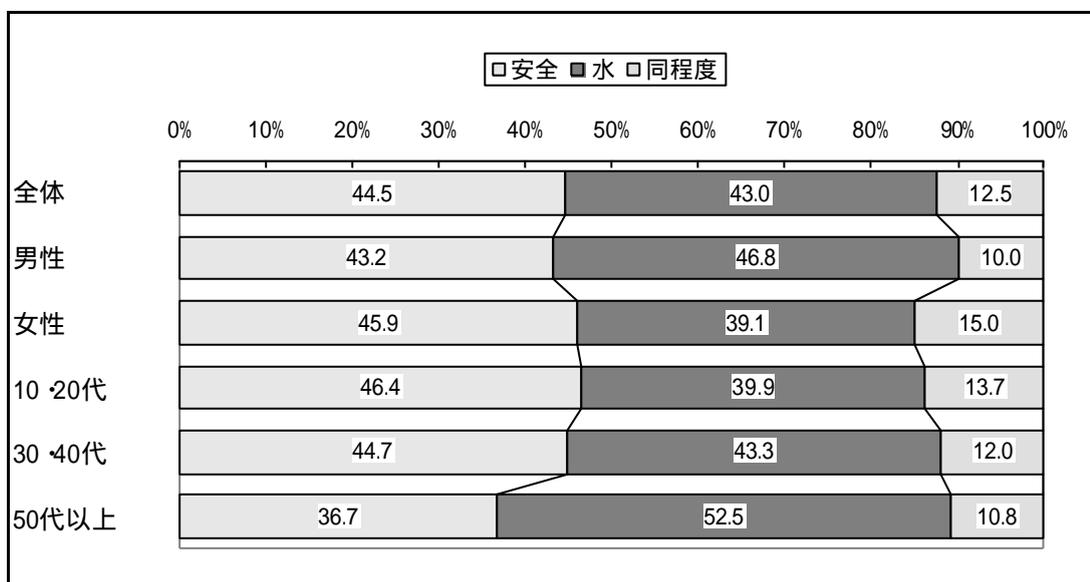
図 2 . 空気と安全で、日常生活の中で意識することが多いものはどれか



次に、「空気」と「安全」では、どちらを意識するかを聞いてみました。「安全」(72.3%)と回答した人が7割を越え、「空気」と回答した人は16.5%に留まっています。また、「同程度」との回答が約1割(11.2%)みられます。

属性別には、居住地別にみると、「安全」と回答した人は甲信越(61.1%)で少なめです。

図 3 . 安全と水で、日常生活の中で意識することが多いものはどれか



最後に、「安全」と「水」ではどちらかを聞いたところ、「安全」が44.5%の回答、「水」が43.0%の回答で、答えはほぼ拮抗しています。また、「同程度」と回答した人が1割強(12.5%)あります。

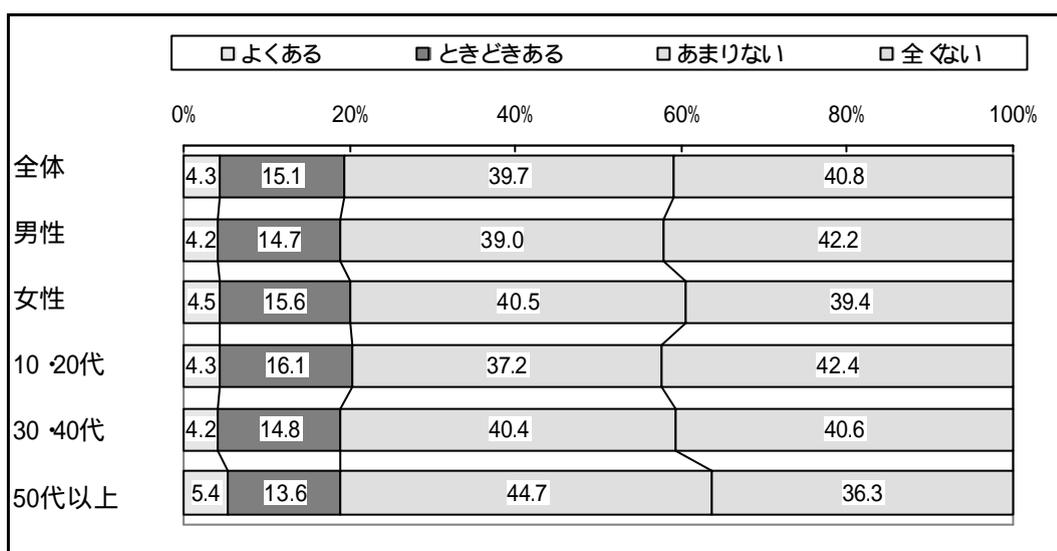
属性別には、年代別にみると、「安全」は年代が低いほど回答が多めとなっており、「水」は逆に年代が高いほど回答が多くなっています。

## 2. 「空気・水・安全」について、日頃コストを意識すること

コスト意識も「空気」が最も弱い

- ・「空気」のコストを意識することは、8割（80.5%）の人が“ない”
- ・「水」のコストを意識することは、“ある”人が約8割（79.4%）
- ・「安全」のコストを意識することは、“ある”人が7割近い（66.8%）

図4. 「空気」のコストを意識することはどの程度あるか



「空気・水・安全」について、日頃、そのコストを意識することがどの程度あるかを聞いてみました。

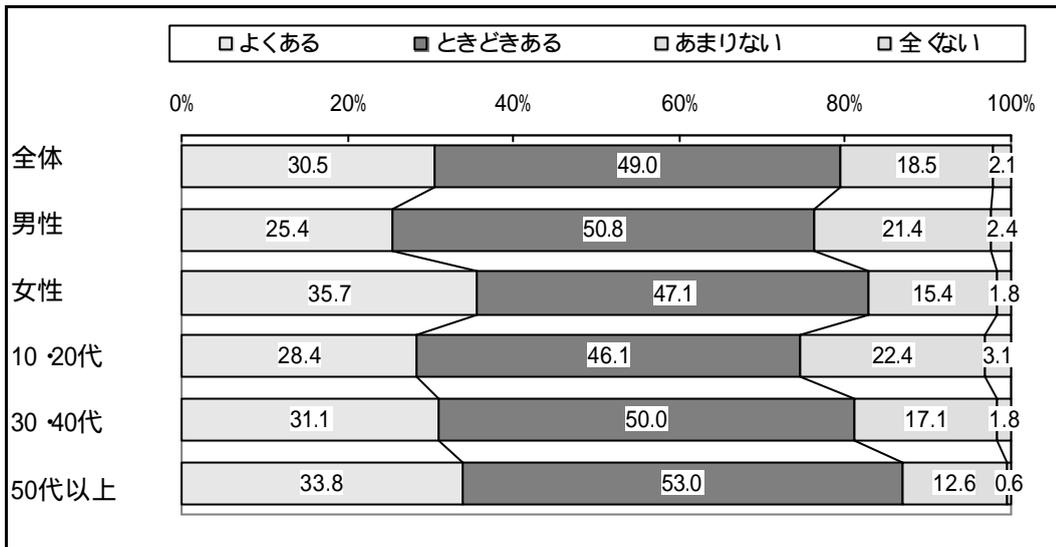
まず、「空気」のコストを意識することは、「全くない」（40.8%）と「あまりない」（39.7%）との回答がそれぞれ約4割と多く、両者を合計すると、8割（80.5%）の人が“ない”と回答しています。

一方、「時々ある」（15.1%）と「よくある」（4.3%）を合計しても、“ある”人は約2割（19.4%）に留まります。

属性別には、家族の中に「病気がちの方」がいる場合“ある”（28.1%）の回答が多めです。

また、地域別には“ある”との回答が多めなのは「東京」（22.1%）と「南関東（東京を除く）」（21.2%）で、“ない”という回答が多めなのが「東海」（84.0%）でした。

図5 .「水」のコストを意識することはどの程度あるか

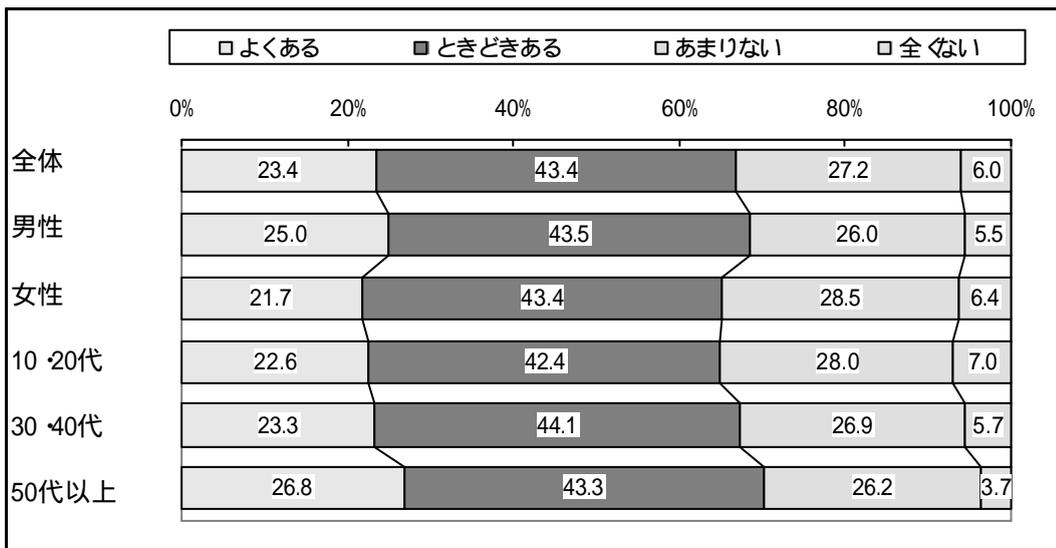


次に、「水」のコストを意識することは、「時々ある」(49.0%)と回答した人が最も多く、次いで「よくある」(30.5%)の順となっており、両者を合計すると“ある”人が約8割(79.4%)です。

一方、「あまりない」との回答が18.5%、「全くない」が2.1%となっており、この両者を合わせると、“ない”人も約2割(20.6%)います。

属性別には、性別では女性が、年代別にみると、年代が高いほど“ある”という回答が多くなっています。

図6 .「安全」のコストを意識することはどの程度あるか



最後に、「安全」のコストを意識することは、「時々ある」(43.4%)と回答した人が最も多く、また「よくある」との回答も23.4%となっており、この両者を合計すると“ある”

人が7割近く（66.8％）となっています。

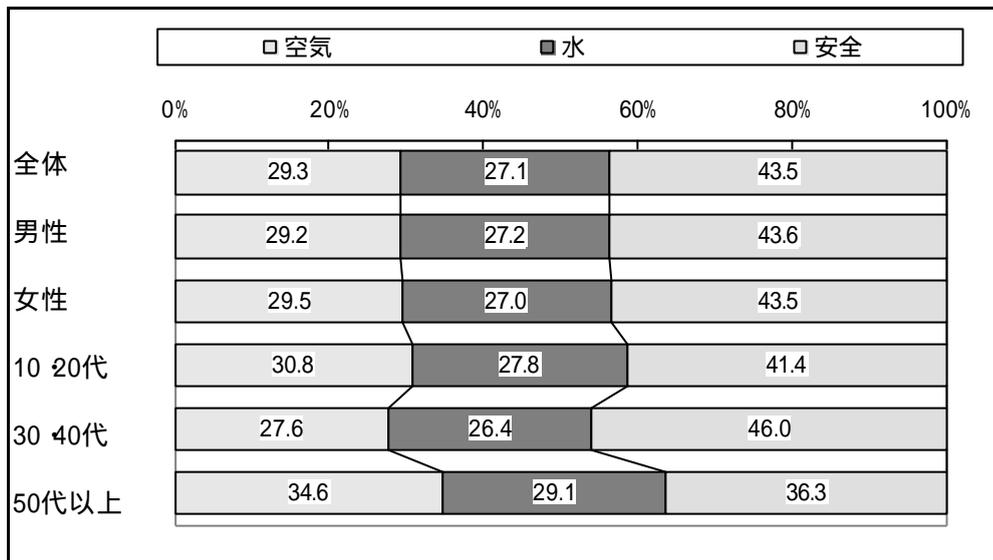
一方、「あまりない」が27.2％、「全くない」も6.0％で、両者を合計すると、“ない”人が3割強（33.2％）います。

属性別にみても、特に大きな差はみられませんが、「安全」に対するコスト意識は男性の方が高めとなっています。また、年代が高いほどコスト意識も高い傾向が「安全」に関しても見られます。

### 3. 「空気・水・安全」の中で最も心配なもの

空気・水・安全の中で心配なのは、「安全」(43.5%)が最も多く、次いで「空気」(29.3%)  
「水」(27.1%)の順

図7. 「空気・水・安全」の中で将来最も心配なもの



「空気・水・安全」の中で最も心配（気がかり）なものはどれかを聞いてみました。「安全が最も気になる」(43.5%)と回答した人が最も多く、次いで「空気が最も気になる」(29.3%)「水が最も気になる」(27.1%)の順となりました。

属性別にみても、特に大きな差はみられません。

なお、地域別にみると、「空気が最も気になる」という回答が多かったのは「北海道」(34.4%)、「水が最も気になる」という回答が多かったのが「九州・沖縄」(35.6%)、「安全が最も気になる」という回答が多かったのは「東京」(46.0%)でした。

#### 4. 「空気・水・安全」について心配な点

「空気」について最も気になることは「大気汚染・空気の汚染」(1,924件)、「水」について最も気になることは「水質劣化・汚染・汚濁」(1,244件)、「安全」について最も気になることは「交通事故」(800件)で、どれも際立っている

##### (1) 「空気」について心配な点

表2. 「空気」について気になること

項目	件数	項目	件数
大気汚染・空気の汚染	2162	匂い	61
車などの排気ガス	673	シックハウス(ホルムアルデヒド)	53
二酸化炭素	458	森林伐採による影響	43
春先などの花粉	320	ウイルス・細菌による空気感染	35
有害物質による汚染	150	紫外線	34
地球温暖化現象による影響	147	ゴミ焼却場からの煤煙	33
オゾン層の破壊による影響	132	緑地や緑の減少	30
工場排気による大気汚染	127	中国からの大気汚染物質の飛来	28
環境汚染による空気の汚れ	120	酸素濃度の不足	25
ダイオキシン問題	108	光化学スモッグ	23
喫煙の影響(煙・臭い)	76	不純物の増加	16
室内の埃やダニ	73	放射能汚染	12
地球的規模での空気の汚れ	70	フロンガス	11
田舎もどんどん空気が悪くなっている	69	良質な空気入手にコストがかかる	7
喘息、アレルギーなどの心配	63		

「空気」について気になることを自由記述で聞いてみました。最も多いのは「大気汚染・空気の汚染」(2,162件)で、以下「車などの排気ガス」(673件)、「二酸化炭素」(458件)、「春先などの花粉」(320件)、「有害物質による汚染」(150件)などが続いています。

属性別の上位3項目をみると以下のようになっており、20代では「花粉」が、40代では「有害物質による汚染」が心配な点の3位となっています。

	1位	2位	3位
男性	大気の汚染	車の排気ガス	二酸化炭素
女性	大気の汚染	車の排気ガス	二酸化炭素
10代	大気の汚染	車の排気ガス	二酸化炭素
20代	大気の汚染	車の排気ガス	春先などの花粉
30代	大気の汚染	二酸化炭素	車の排気ガス
40代	大気の汚染	車の排気ガス	有害物質による汚染
50代	大気の汚染	車の排気ガス	二酸化炭素
60代以上	大気の汚染	車の排気ガス	二酸化炭素

(2) 「水」について心配な点

表3 「水」について気になること

項目	件数	項目	件数
水質劣化・汚染・汚濁	1244	水も買う時代になってしまう	48
水不足・断水	343	自然破壊や森林伐採の影響	42
水道水の不味さ	317	節水意識の希薄さ	42
塩素の量・残留塩素	269	ダイオキシンの	39
海・河川の汚染	264	農薬による水質汚染	33
水道水の安全性	225	生水がのめなくなる	31
有害物質混入	123	化学物質による汚染	30
水道料値上げ	123	土壌汚染等による水質汚染	22
匂い(カルキ臭)	110	発ガン性物質	21
生活排水による汚染	107	廃棄物による水源の汚染	20
産業排水による汚濁	88	綺麗な水がなくなる	20
地球温暖化による影響	84	水による食中毒	18
水資源・井戸水・地下水の枯渇	74	公害汚染	18
硫酸雨	67	水を貯めるタンクの安全性	18
浄水器がないと飲めなくなる	63	大気汚染による水の汚染	18
トリハロメタン	60	重金属	13
井戸水や地下水汚染	55	微生物による水汚染	13
細菌類の混入	53	配水管の汚れ	12
水害 洪水	52	毒物の混入	11
不純物等の混入	51	不法投棄による水質汚濁	8
環境ホルモン物質	50		

次に、「水」について気になることを聞いてみました。最も多いのは「水質劣化・汚染・汚濁」(1,244件)で、群を抜いています。

以下、「水不足・断水」(343件)、「水道水の不味さ」(317件)、「塩素の量・残留塩素」(269件)、「海・河川の汚染」(264件)、「水道水の安全性」(225件)などが続いています。

(3) 「安全」について心配な点

表4 「安全」について気になること

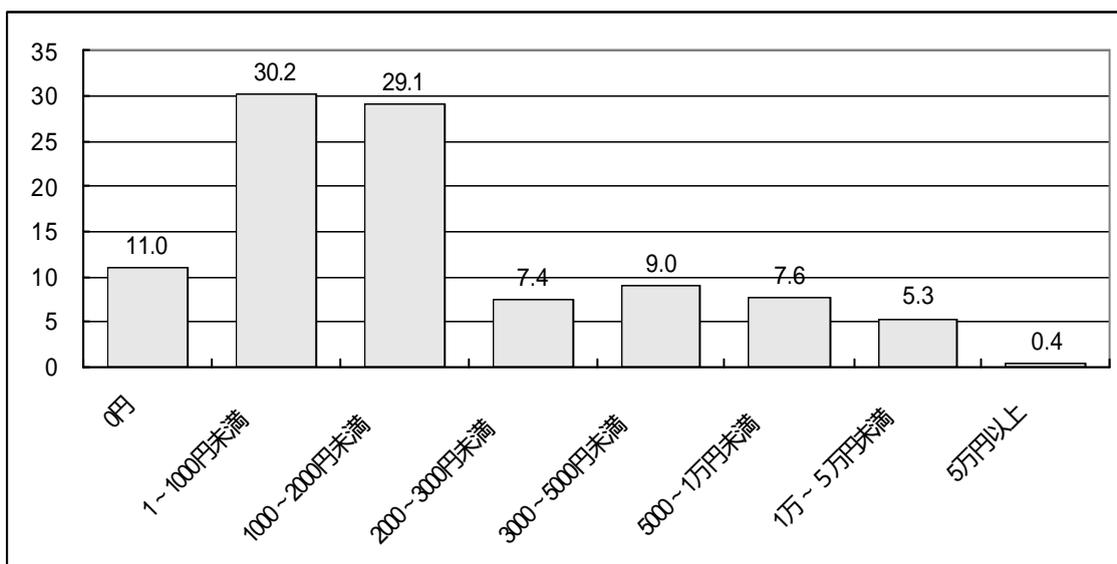
項目	件数	項目	件数
交通事故	800	不景気による犯罪増加	40
治安の悪化 警察力の低下	670	北朝鮮問題 拉致	39
犯罪の増加	290	原発問題	35
テロ	249	ストーカー	33
外国人犯罪の増加	169	火事	32
犯罪の凶悪化	160	理由なき殺人	57
空巣・ピッキング	154	日本の安全神話の崩壊	30
大地震	141	異常気象・天災	46
食品の安全性	123	盗難被害など	26
環境汚染	86	変質者の増加	22
犯罪の低年齢化	80	車上荒らし	15
個人情報の漏洩	77	誘拐	15
戦争	60	薬害	13
農薬汚染	59	引ったくり	11
通り魔	42		

また、「安全」について気になることについても聞いてみました。最も多いのは「交通事故」(800件)で、以下「治安の悪化」(670件)、「犯罪の増加」(290件)、「テロ」(249件)、「外国人犯罪の増加」(169件)、「犯罪の凶悪化」(160件)などが続いています。

## 5. 「空気・水・安全」の値段

得るために出してもよいと思う金額は、「おいしい・快適な空気」の平均金額は 2,125 円、「おいしい水」の平均金額は 2,525 円、「安全」の平均金額は 5,686 円

図 8 . 「おいしい・快適な空気」の 1 カ月の値段



「空気・水・安全」に値段をつけるとしたら、いくら位のお金を出してもよいと思うかを聞いてみました。

まず、「おいしい・快適な空気」が 1 カ月間得られるとしたら、いくら位出してもよいかを聞いたところ、「1 ~ 1000 円未満」(30.2%) と回答した人が最も多く、次いで「1000 ~ 2000 円未満」(29.1%) の順となっています。以下、「特にお金を出す必要はない(0 円)」(11.0%) が続きます。平均は 2125 円でした。

属性別には、性別にみると、女性(平均 2,086 円)に比べて男性(平均 2,164 円)の方が若干高めとなっています。

年代別にみると、年代が高くなるほど平均金額も高くなっています。(50 代以上 2,514 円、30 ~ 40 代 2,098 円、10 ~ 20 代 2,061 円)

住まい別にみると、借家(平均 1,928 円)より持ち家(平均 2,235 円)の方が高く、また家族構成別には、3 世代(平均 2,323 円)の家庭の金額が最も高くなっています。

家族の中に「病気がちの方がいる家庭」(平均 3,097 円)で最も金額が高く、次いで「小中学生がいる家庭」(平均 2,536 円)で高くなっています。

なお、「100 万円以上」出してもよいと回答した人が 6 名おり、最高額は 1 千万円でした。

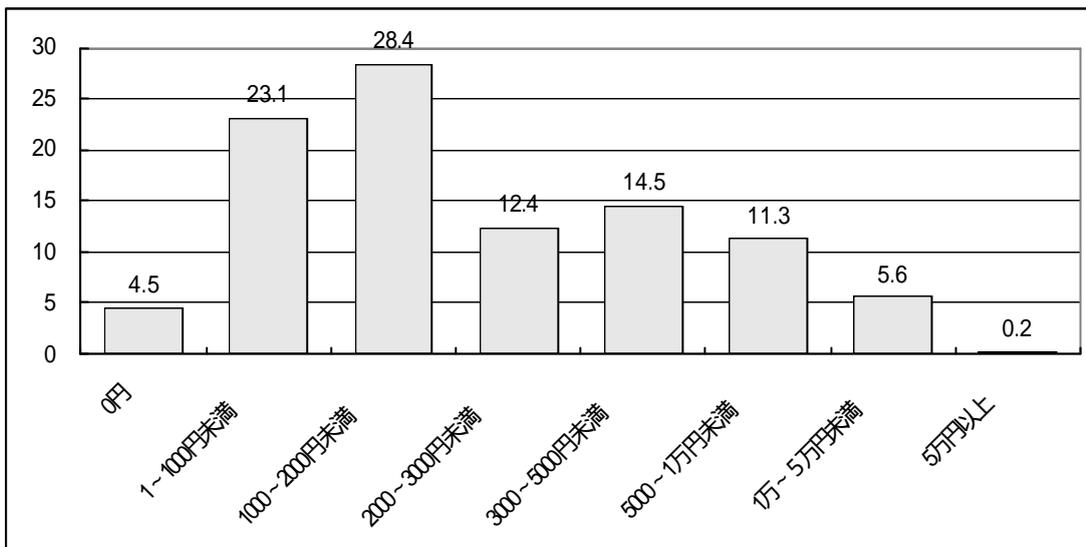
地域別の平均金額を見てみると、「南関東(東京を除く)」が 2,511 円、「東京」が 2,392 円と高めであり、「四国」(1,477 円)・「北関東」(1,533 円)・「北陸」(1,563 円)が安めの回答となっています。

地域別にみる「おいしい・快適な空気」を1か月得るために出してもよい金額

単位：円

地域	平均金額
北海道	1,869
東北	2,339
北関東	1,533
南関東(東京除く)	2,511
東京	2,392
甲信越	1,874
東海	2,203
北陸	1,563
近畿(大阪除く)	1,789
大阪	1,981
中国	1,751
四国	1,477
九州・沖縄	2,068

図9.「おいしい水」の1カ月の値段



次に、「おいしい水」が1カ月間得られるとしたら、いくら位かを聞いたところ、「1000～2000円未満」(28.4%)が最も多く、次いで「1～1000円未満」(23.1%)で、以下「3000～5000円未満」(14.5%)「2000～3000円未満」(12.4%)「5000～1万円未満」(11.3%)の順で続いています。平均は2,525円です。

属性別には、性別にみると、女性(平均2,447円)より男性(平均2,600円)の金額が高くなっています。

年代別には、年代が高くなるほど平均金額も高くなっています。(50代以上3,017円、30～40代2,502円、10～20代2,423円)

住まい別にみると、借家(平均2,271円)より持ち家(平均2,657円)方が高く、また家族構成別には、3世代(平均2,812円)の家庭の金額が最も高くなっています。

家族の中に「病気がちの方がいる家庭」(平均3,024円)で最も金額が高く、次いで「小中学生がいる家庭」(平均2,951円)で高くなっています。

地域別にみると、「南関東(東京を除く)」(平均2,718円)の金額が最も高く、最も低いのは「四国」(平均1,799円)です。

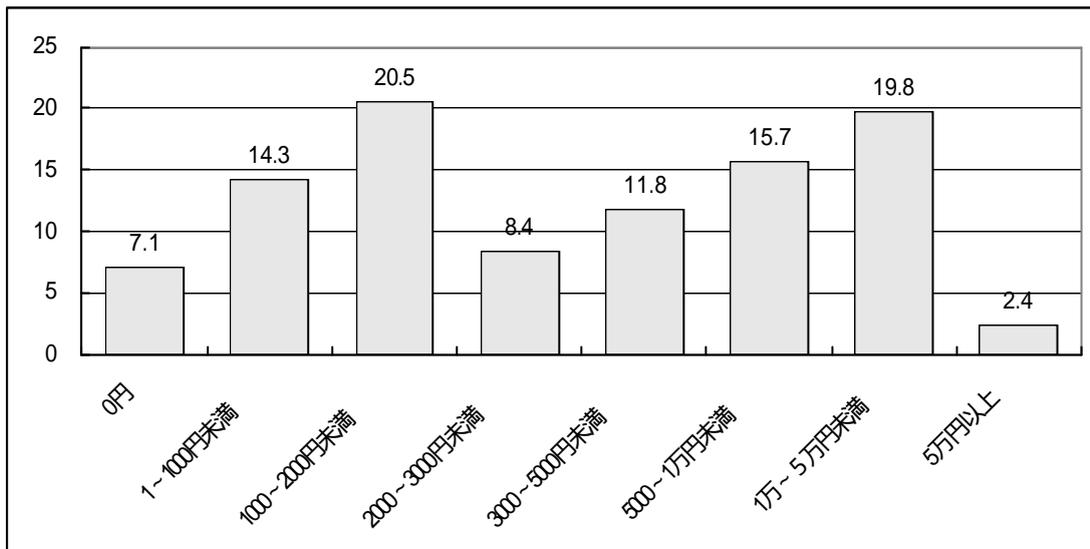
地域別にみる「おいしい水」を1カ月得るために出してもよい金額

単位:円

地域	平均金額
北海道	2,442
東北	2,681
北関東	2,073
南関東(東京除く)	2,718
東京	2,547
甲信越	2,419
東海	2,647

地域	平均金額
北陸	2,415
近畿(大阪除く)	2,330
大阪	2,347
中国	2,628
四国	1,799
九州・沖縄	2,690

図 10. 「安全」の1カ月の値段



最後に、「安全」が1カ月間得られるとしたら、いくら位出してもよいかを聞いたところ、「1000～2000円未満」(20.5%)と回答した人が最も多く、次いで「1～5万円未満」(19.8%)となっており、以下「5000～1万円未満」(15.7%)「1～1000円未満」(14.3%)「3000～5000円未満」(11.8%)の順で続きます。平均は5,686円でした。

属性別には、性別にみると、女性(平均5,225円)に比べて男性(平均6,133円)が高くなっています。

年代別にみると、10～20代(平均6,077円)および50代以上(平均6,032円)に比べ、30～40代(平均5,399円)の金額が低くなっています。また未婚別には、既婚者(6,047円)に比べて未婚者(平均5,477円)の金額が高めとなっています。

住まい別にみると、借家(平均5,305円)より持ち家(平均5,780円)方が高く、また家族構成別には、3世代(平均6,733円)の家庭の金額が最も高くなっています。

家族の中に「70才以上の方がいる家庭」(平均6,991円)で最も金額が高く、次いで「病気がちの方がいる家庭」(平均6,575円)で高くなっています。

地域別にみると、「東京」(平均6,051円)の金額が最も高く、最も低いのは「北陸」(平均4,575円)です。

地域別にみる「安全」を1カ月得るために出してもよい金額

単位:円

地域	平均金額
北海道	5,786
東北	5,213
北関東	4,993
南関東(東京除く)	5,895
東京	6,051
甲信越	5,485
東海	5,938

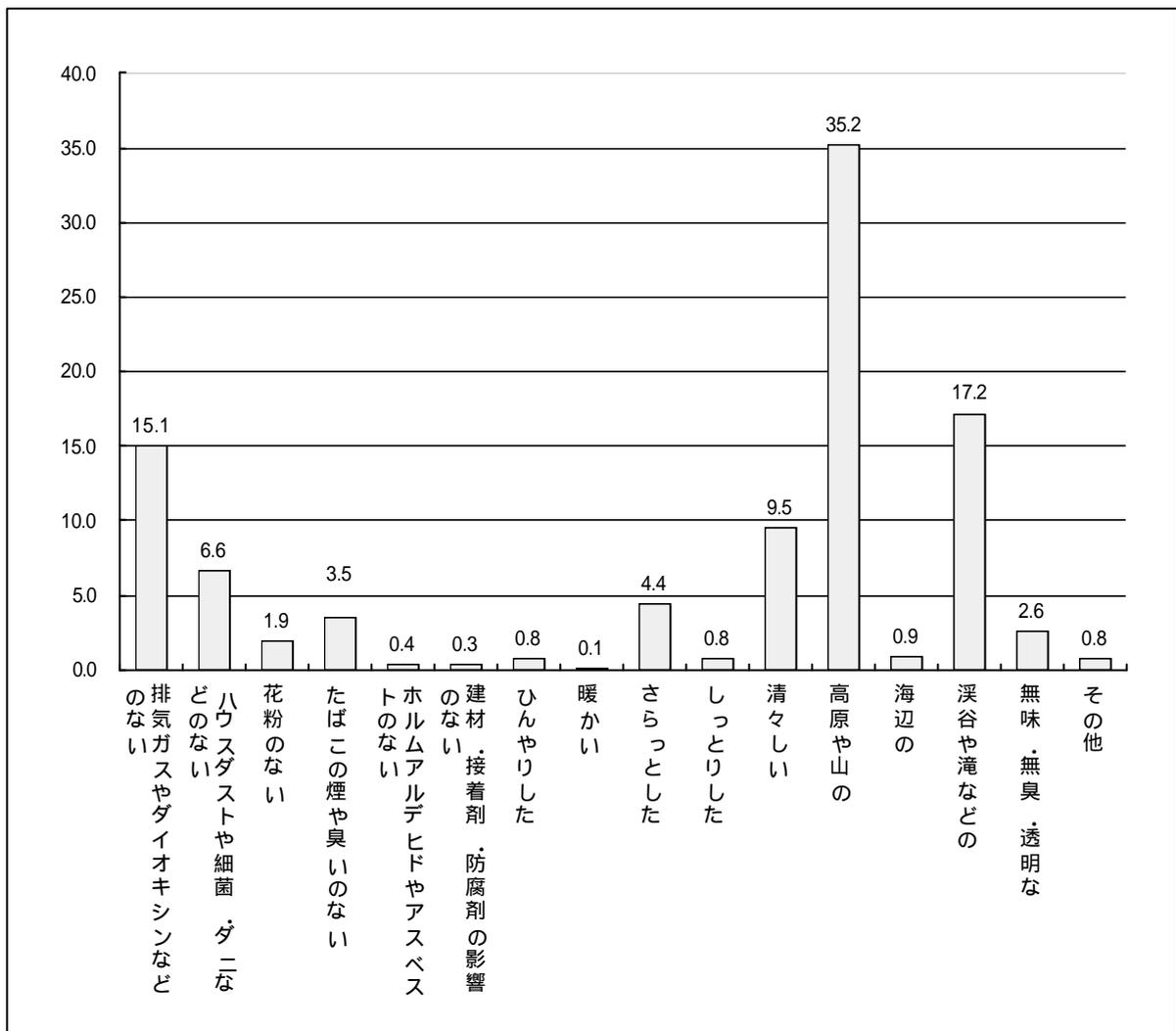
地域	平均金額
北陸	4,575
近畿(大阪除く)	5,079
大阪	5,793
中国	4,973
四国	4,915
九州・沖縄	6,273

「空気・水・安全」の中で、最も高いお金を出してもよいと思うものは「安全」(平均 5,686 円)という結果となり、「おいしい・快適な空気」(平均 2,125 円)と「おいしい水」(平均 2,525 円)は比較的近い金額となりました。

6. 「おいしい・快適な空気」といえばどんな空気が

「高原や山の」(35.2%)が最も多く、次いで「渓谷や滝などの」(17.2%)、「排気ガスやダイオキシンなどのない」(15.1%)

図 11. 「おいしい・快適な空気」とはどんな空気が



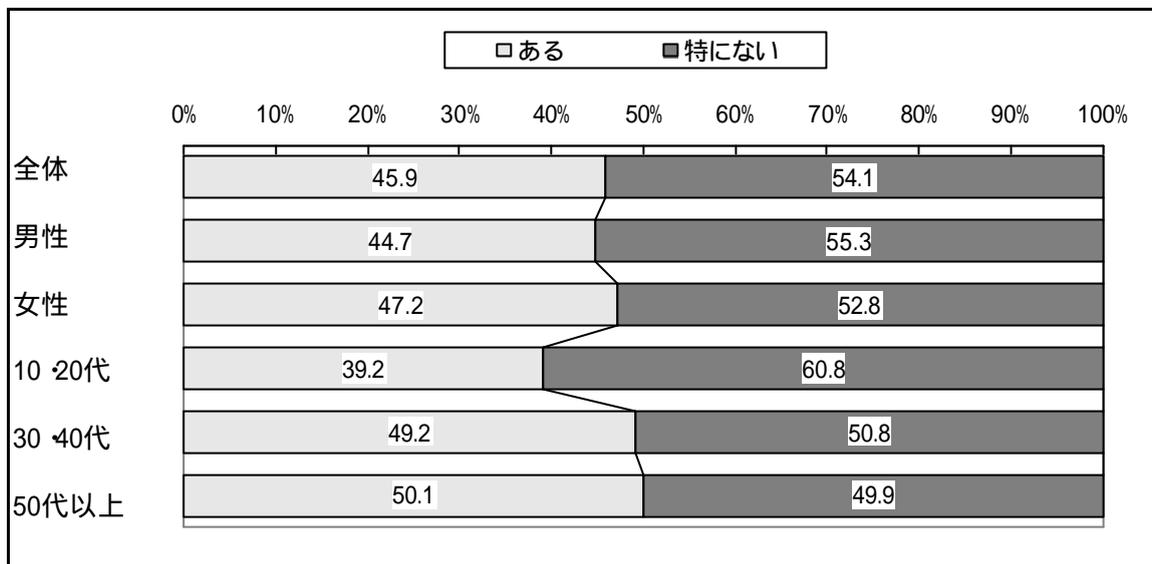
「おいしい・快適な空気」といえばどんな空気がを聞いてみました。「高原や山の」(35.2%)と回答した人が最も多く、次いで「渓谷や滝などの」(17.2%)、「排気ガスやダイオキシンなどのない」(15.1%)の順となっています。他はいずれも1割以下の回答に留まっています。

属性別にみても、特に大きな差はみられません。

7. 「おいしい・快適な空気」を得るためにお金をかけたことがあるか

「特にない」(54.1%)の方が多いが、「ある」(45.9%)も半数近くを示す

図12. 「おいしい・快適な空気」を得るためにお金をかけたことがあるか



「おいしい・快適な空気」を得るためにお金をかけたことがあるかを聞いてみました。「特にない」(54.1%)と回答した人の方が多く、「ある」(45.9%)人は半数以下に留まっています。

属性別には、年代別にみると、「ある」は年代が高いほど回答が多めです。

また、未既婚別には、「ある」は未婚者(37.4%)に比べて既婚者(50.8%)で多くなっています。

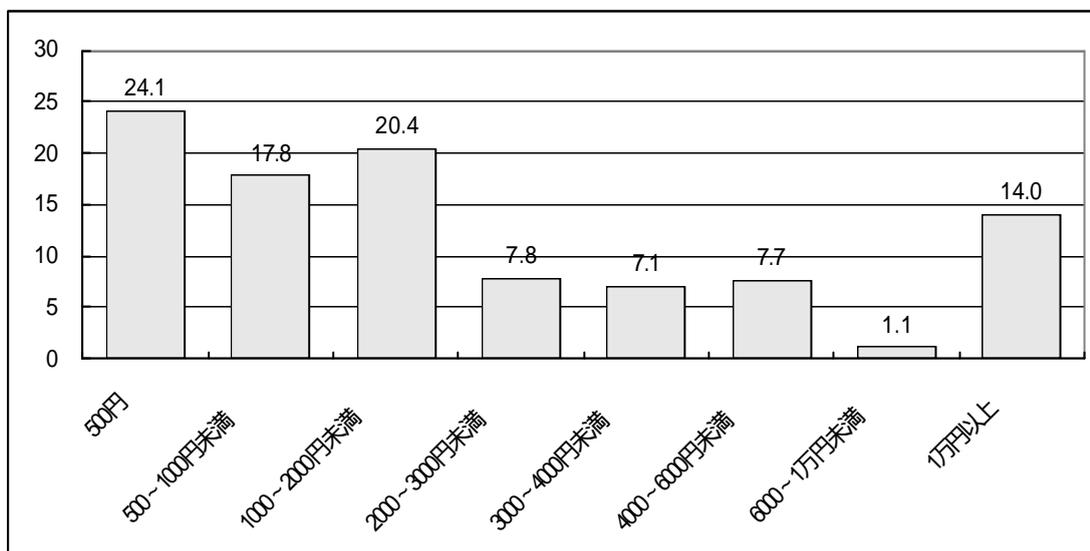
家族の中にいる人別では、「ある」は、「該当する家族はいない」(40.1%)人と「70才以上」の方(40.4%)の回答が少なめです。

居住地別には、「ある」は、「南関東(東京を除く)」(50.9%)と「東京」(50.4%)で多いのに対して、「東北」(36.1%)と「北陸」(36.8%)は少なく3割台に留まります。

8 . 1 カ月に換算するといくら位に相当するか(お金をかけたことのある人)

「おいしい・快適な空気」を得るためにかけたお金の平均金額は1万円

図 13. 「おいしい・快適な空気」を得るためにかけたお金の1カ月換算の金額



「おいしい・快適な空気」を得るためにお金をかけたことがあると回答した人に、1カ月に換算するといくら位に相当するかを聞いてみました。「500円未満」(24.1%)が最も多く、次いで「1000~2000円未満」(20.4%)、以下「500~1000円未満」(17.8%)「1万円以上」(14.0%)の順となっています。平均は1万5000円です。

属性別には、未婚別に見ると、既婚者(平均8,369円)に比べ未婚者(平均1万3,998円)の金額が高くなっています。

家族構成別には、「1世代(一人住まい)」(平均1万3,235円)が最も高くなっており、また家族の中にいる人別では、「小中学生のいる家庭」(平均1万3,214円)が最も高くなっています。

また、居住地別に見ると、「甲信越」(平均1万7,893円)が最も高く、次いで「近畿」(平均1万6,629円)の順となっており、逆に少ないのは「四国」(平均2,094円)、「北海道」(平均2,178円)、「東北」(平均2,576円)などです。

9. 「おいしい・快適な空気」を得るためにお金をかけたこと

「おいしい・快適な空気」を得るためにお金をかけたことでは「空気清浄機の設置」(1834件)が圧倒的に多い

表5. 「おいしい・快適な空気」を得るためにお金をかけてどのようなことをしたか

空調関連機器系	件数	旅行関連系	件数	その他	件数
空気清浄機の設置	1834	山歩き・登山	226	引越しをした	38
高機能 エアコン設置	77	旅行をする	201	部屋に観葉植物を	11
マイナスイオン発生器	68	里帰り 帰省	84	芳香剤を使う	7
除湿機を使用している	15	森林浴をする	53	別荘を買った	3
加湿清浄機	13	自然を見に行く	52	上記合計	59
上記合計	2007	高原に行く	30		
		海外旅行に出かける	29		
		海や山へ出かける	27		
		緑の多いところへ行く	16		
		ハイキング	15		
		郊外へでかける	11		
		上記合計	744		

「おいしい・快適な空気」を得るためにお金をかけたことがあると回答した人に、さらにどのようなことをしたのか聞いてみました。最も多いのは「空気清浄機の設置」(1,834件)で、圧倒的に多くなっています。そのほか、「山歩き・登山」(226件)、「旅行をする」(201件)などがあげられています。

なお、7,341名のうち「おいしい・快適な空気」を求めて「引っ越し」をした人が38名いました。

## 10. お金をかけなかった理由

お金をかけなかった理由では「必要がない」(1,173件)が圧倒的に多い

表6. 「おいしい・快適な空気」を得るために特にお金をかけることをしなかった理由

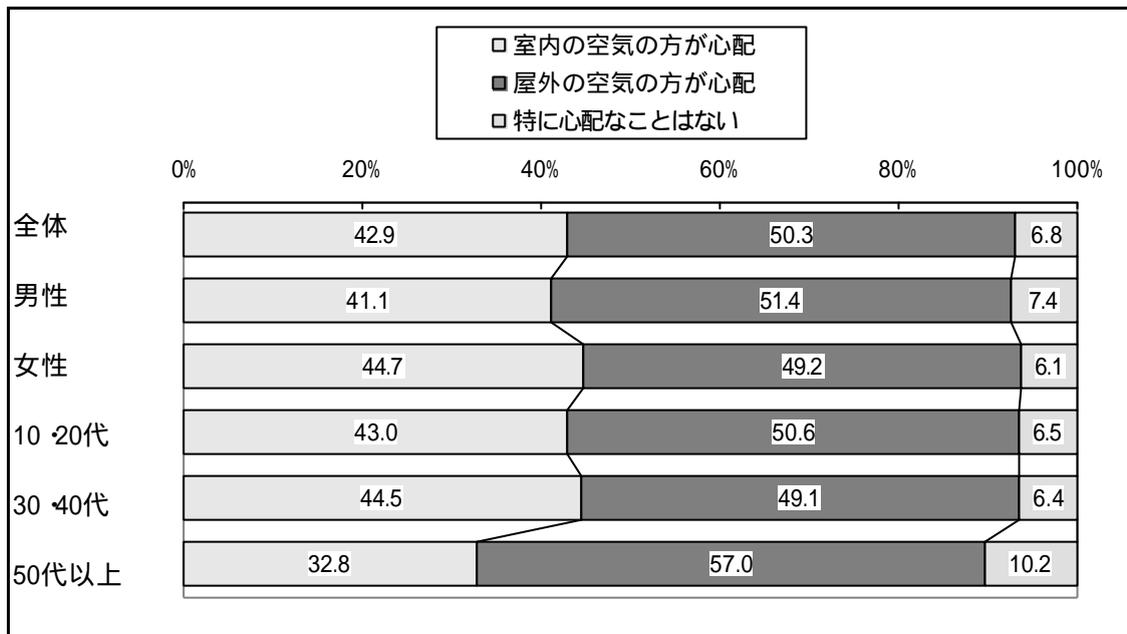
項目	件数
必要がない(必要性を感じない)	1173
良い方法がない・思いつかない	983
お金がかかりすぎる(優れた清浄機は高価)	335
郊外・田舎に住んでいるので	278
室内だけやっても無駄だから	175
お金をかけようとまでは思わない	158
旅行の目的はおいしい空気ではない	127
清浄機などの効果は疑問	125
考えたことがない	116
個人ではどうしようもない	69
考えたことはあるが実行には至らない	63
あきらめている	60
優先順位は低い	43
旅先がよい空気とは限らない	20
引っ越ししか方法がないから	15

「おいしい・快適な空気」を得るために特にお金をかけることはしなかったと回答した人にどうしてか理由を聞いてみたところ、「必要がない(必要性を感じない)」(1,173件)が圧倒的に多く、以下「よいがない・思いつかない」(983件)、「お金がかかりすぎる」(335件)、「郊外・田舎に住んでいるので」(278件)の順となっています。

## 11. 室内の空気と屋外の空気のどちらが心配か

「屋外の空気の方が心配」(50.3%)が約半数、「室内の空気の方が心配」は4割強(42.9%)

図14. 室内の空気と屋外の空気とどちらが心配か



室内の空気と屋外の空気のどちらが心配かを聞いたところ、「屋外の空気の方が心配」(50.3%)と回答した人が約半数と多く、「室内の空気の方が心配」と回答した人は4割強(42.9%)となっています。「特に心配なことはない」人も6.8%いました。

属性別には、年代別にみると、50代以上は「屋外の空気の方が心配」(57.0%)が多く、「室内の空気の方が心配」(32.8%)が少なめです。

## 12. 日常生活の中であまりコストを意識しないもの

意識されていないものは「空気」と「水」が圧倒的に多い

表1. 日常生活の中であまりコストを意識しないもの

項目	件数	項目	件数
空気	5901	挨拶	86
水	4429	公衆トイレ	81
太陽エネルギー(光熱)	1808	海	75
安全	1166	散歩	72
電気	1132	火	57
自然 景色・景観	627	サービス	54
情報	516	公共施設	53
ポケットティッシュ	387	公園	51
ガス	367	平和	49
下水道	334	家事	48
紙類(QE-用紙、広告、チラシ類)	311	環境	45
放送	304	試供品、サンプル	36
時間	280	図書館	33
風	271	自由	33
ゴミの処理	265	救急車	32
雨	222	洗剤	27
一般道路	211	買い物袋	26
ビニール袋(ゴミ袋等)	196	おしゃべり	26
愛	130	割り箸	25
自家製の食物	129	お茶	24
家族	106	空	22
健康	101	石鹸	22
睡眠	99	土	5
自分の体(体力、労力等)	92		

日常生活の中であまりコストを意識しないものは何か、自由にあげてもらいました。

最も多いのは「空気」(5,901件)で、次いで「水」(4,429件)の順となっています。そのほか、「太陽エネルギー」(1,808件)、「安全」(1,166件)、「電気」(1,132件)なども多くあげられています。

従来、日本人は「空気・水・安全」は無料だと思っているとされてきましたが、現代の三大無料ものは少しずつ変化してきているようで、「空気」と「水」は相変わらず無料だと思われていますが、「安全」は無料ではないという意識が強まってきているようです。

属性別にみると、性別では、上位3項目は同じですが、4番目が男性は「安全」、女性は「電気」でした。

年代別には、10代は3位に「電気」、5位に「情報」をあげ、60代以上は3位に「安全」を、5位に「自然・景色・景観」あげています。

「空気」と「水」は、あらゆる年代で相変わらず無料ものとされていますが、「安全」は若い世代になるほど無料ものではなくなっています。

< 属性別五大無料もの >

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	空気 (67.8%)	水 (54.2%)	太陽 (22.7%)	安全 (17.5%)	電気 (15.3%)
女性	空気 (67.9%)	水 (49.9%)	太陽 (24.4%)	電気 (14.1%)	安全 (13.8%)
10代	空気 (64.5%)	水 (50.5%)	電気 (22.3%)	太陽 (21.8%)	情報 (8.2%)
20代	空気 (67.1%)	水 (51.2%)	太陽 (22.0%)	電気 (18.2%)	安全 (12.5%)
30代	空気 (67.8%)	水 (50.4%)	太陽 (24.1%)	安全 (15.2%)	電気 (13.4%)
40代	空気 (69.4%)	水 (53.9%)	太陽 (23.9%)	安全 (19.7%)	電気 (12.6%)
50代	空気 (68.6%)	水 (55.6%)	太陽 (26.6%)	安全 (21.0%)	電気 (12.3%)
60代以上	空気 (65.3%)	水 (64.1%)	安全 (24.6%)	太陽 (23.4%)	自然・景観 (11.4%)